

この会社にきた理由がわかった

100日間

道南バス 株式会社

企業で活躍する若手社員の紹介

社員採用側と就職活動側、お互いのゴールは「入社」ではなく、「定着」から活躍であることは周知であると思う。せっかく人材のマッチングが行われ入社に至っても、定着までにかかる日数が業界それぞれに存在する。

『定着までの心理と時間の谷』
その多くは100日に現れることが多いと言われている。
『谷を越えて来た』9人のインタビューから、それぞれの背中を押したポイントを探ってみたい。



子供の頃には、

大きい車への憧れはありましたけど

子供の頃からもしかしたら漠然となりたい職業にバスや電車などの運転手さんはあったかもしれませんが、特別心に秘めていたということもなく大人になっていました。

今の会社へ就職する前は、都市部の遊技場で接客のお仕事という今とはだいぶ違うお仕事をしていましたし、仕事もプライベートも順調に過ごしていたと思います。

40歳を目前として、

個人的に転換点が現れました。

個人的なことなのですが、40歳を目前にして、いくつかの出来事が重なったのです。

・転勤 前職の業界では店舗の統廃合など業務の集約が進み、私は室蘭への転勤が命ぜられました。

・結婚 お付き合いしていたパートナーの実家が室蘭にあり、近くに2人で来るならばと、結婚の話も順調に進みました。

私も新しいところで、

新しい出発をすることになりました。

実は10年くらい前、具体的な計画はなかったのですが、前職の業界景気の噂もあって将来もしかして転職の機会を考えた時、可能性の幅を増やせるかと思ひ、大型の種免許の取得をしました。

「期は熟した」くらいの感覚で、現在の道南バスに応募しました。

免許等は再就職で入社の場合、会社で取得支援してくれる制度もあったのですが、自分で準備できていたので気遅れもありませんでした。

新しい生活と仕事で、

毎日を楽しく過ごしています。

バス運転手としての仕事は、接客業という面が大きいと感じています。その点自分は経験があり、好きな分野です。活かしていけると思っています。

今は運転、運航に苦戦中です。しかし、会社の研修制度、先輩との研修、的確で経験豊富なアドバイスで、頑張っています。

定着成功、3つのポイント

- ・乗務までの教育制度が確立
- ・ベテラン勢の圧倒的関与
- ・新人職員のやる気のさらなる底上げ

